

当院で瞳孔記録計を用いた瞳孔検査を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を研究のために解析してまとめるものです。研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療の情報を使ってほしくないとのことがある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報は本研究には利用せず、それ以前に本研究のために収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2019年7月～2024年3月の間に、脳血管障害で受診・入院された方

【研究課題名】脳血管障害急性期診療における瞳孔記録計の有用性の検討

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原匡史

【研究の目的・意義】

本研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、脳血管障害診療における瞳孔記録計の有用性を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的に脳血管障害診療の質の向上に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報等】

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、心電図、CT/MR 画像、カテーテル検査、血液検査（血算、肝機能検査、腎機能検査、内分泌代謝検査）、認知機能、瞳孔記録計による瞳孔所見

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する

際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 猪原部長室

田中智貴 脳神経内科 医長

野田浩太郎 脳血管内科 専門修練医

電話 06-6170-1070 (脳神経内科 猪原部長室)